



第2回

全国高校生

SBP Social Business Project

交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～



2017 8.18(金) 皇學館大学

【会場】

皇學館大学

19(土) 外宮前特設会場・皇學館大学
三重県立相可高校
高校生レストラン「まごの店」

【会場】

外宮前特設会場・皇學館大学

三重県立相可高校

高校生レストラン「まごの店」

主催者 あいさつ



「第2回 全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。

本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、取り組みを通して交流・研鑽を図るため、2013年より毎年1回実施してまいりました。

この取り組みは、当初から全国展開を想定していたため、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保など、この取り組みの意義を問う必要がありました。そこで最初の3年間は、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」と銘打ち、本フェアの前身をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、昨年「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作るため新たなスタートを切りました。

そして嬉しいことに、今回から本フェアが文部科学省の共催事業となり、より多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、第2回目を開催する運びとなりました。

今回のフェアには全国から24団体が参加し、その企画・進行・案内は三重県立相可高校生産経済科・南伊勢高校SBP・松阪商業SBPが担当し、皇學館大学生がその裏方をサポートするという、学生主体のフェアです。

私たちは、地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を全員で、全力で、温かく育んでいきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くの方々へ感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。



未来の大人応援プロジェクト実行委員会
委員長 岸川政之

これまでの /

全国高校生SBP交流フェアの様子



SBPとは

Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト) の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には、高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業など）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取り組みを、地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。今、この地域に根ざした取り組みが全国に広がっています。

2017
8.18(金)・19(土)

第2回 全国高校生SBP交流フェア ～学生の学生による学生のための祭典～

料理部門

SBPチャレンジ部門

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Skincare」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。

『全国高校生“SBP”交流フェア』

料理部門

SBPチャレンジ部門

主催：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

共催：文部科学省

三重県立相可高校 生産経済科・食物調理科、南伊勢高校SBP、松阪商業SBPの生徒達と皇學館大学の学生スタッフにより、本フェアの企画、運営を行い、企業、行政などの各種団体が支えています。

後援

協力

産・官・学・金・言（産業界・行政・学校・金融・マスコミ）

料理部門

料理に取り組む日本全国の高校生が、本フェアの開催期間中に高校生レストラン「まごの店」や相可高校に移動して、同校食物調理科調理クラブとの料理交流を行います。

参加各校が交流を深め、ホスピタリティーあふれる人として成長する機会になることも大きな目的の一つです。



SBP チャレンジ部門

色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取り組みの完成度等を評価します。

成績評価について

全参加団体（オールセッション（口頭）、ポスターセッション（掲示））の取組に対し、『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、89点以下）、『雅』（50点以上、74点以下）の講評を行います。

そのうえで、最も点数の高かった団体に文部科学大臣賞、次点に三重県知事賞を授与します。

『文部科学大臣賞』

『三重県知事賞』

『特別賞』……… オールセッション及びポスターセッションに参加した団体の中から、各企業等の基準・観点で選ばれた団体に対して、以下の各賞を授与します。賞の選定は、協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとなりますので、重複して賞を受ける団体があります。

- ・赤福賞
- ・SYD賞
- ・角田陽一郎賞
- ・皇學館大学賞
- ・東京学芸大学賞
- ・ファーウェイ賞
- ・プラトンホテル四日市賞
- ・アドビ賞
- ・大西康夫賞
- ・Google イノベーションジャパン賞
- ・辻製油賞
- ・百五賞
- ・ベネッセ賞
- ・レオパレス 21 賞

※ 50 音順

審査委員

氏名	所属等	審査担当（注1）
荒木 康行	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	ポスター+オール審査
大西 康夫	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	ポスター+オール審査
角田 陽一郎	バラエティプロデューサー（元 TBS 番組プロデューサー）	ポスター+オール審査
黒田 美和	株式会社プラトンホテル 専務取締役 支配人	ポスター+オール審査
小村 俊平	株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 教育イノベーション推進課 課長	ポスター+オール審査
杉原 佳堯	グーグル合同会社 執行役員 公共政策・政府渉外担当	オール審査
世古 晶大	皇學館大学現代日本社会学部3年	ポスター審査
瀧澤 慎一	辻製油株式会社総務部課長	ポスター+オール審査
武井 史織	アドビ システムズ 株式会社 Adobe Creative Cloud コミュニティマネージャー	ポスター+オール審査
武田 数宏	公益財団法人修養団 常務理事 伊勢青少年研修センター所長	ポスター+オール審査
多田 祐美	文部科学省生涯学習政策局生涯学習官	ポスター+オール審査
柘植 英雄	株式会社赤福 執行役員	ポスター+オール審査
鉄矢 悦朗	東京学芸大学教育学部教授	ポスター+オール審査
徳田 嘉美	三重県教育委員会 高校教育課長 （未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員）	ポスター+オール審査
新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長 （未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員）	オール審査
前田 恵美	グーグル合同会社 公共政策部 公共政策カウンセラー	ポスター審査
柳原 なほ子	華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン） 渉外・広報本部 渉外・CSR部 CSR担当シニアマネージャー	ポスター+オール審査
横山 雅志	株式会社レオパレス 21 賃貸事業部学校法人営業部 副部長	ポスター+オール審査

（注1）：ポスター審査（第2次選考ポスターセッション審査）、オール審査（第2次選考オールセッション審査）

※敬称略、50音順

《料理部門・SBP チャレンジ部門共通》

11:00 ~ 受付開始
ポスターセッションのブース設営
(受付終了した団体より順次、指定の教室に移動)

※受付会場：皇學館大学 6 号館 1F 玄関ホール (伊勢市)
※会場：7 号館 4F 741 ~ 746 教室

13:00 ~ オープニング ※会場：6 号館 621 教室

- ・主催者 挨拶 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之)
- ・後援団体代表 挨拶 皇學館大学 学長 清水 潔
- ・オリエンテーション スタッフ紹介 (高校生、大学生)、日程確認、諸連絡等
- ・皇學館大学 大学生テレビ局紹介 (ポスターセッション中に作品を 621 教室で放映します。)

13:20 ~ ポスターセッション 18 団体 ※参加団体の説明担当者は、7 号館 4F 各室に移動

- 審査委員が各団体のブースを順番に説明を受けながら回り、審査します。(1 ブース 5 分程度)
※ブース説明者以外の参加者等は、大学生テレビ局の作品鑑賞及び各団体展示ブースの見学。(実行委員スタッフが適宜、誘導します。)

15:20 ポスターセッション終了 ※参加者等は講演会場：6 号館 621 教室へ移動

15:30 ~ 講演

- 武井 史織 氏
アドビ システムズ 株式会社 Adobe Creative Cloud コミュニティマネジャー
テーマ：「デザインの力×地方創生」

16:00 ~ ワークショップ

■ WS1 動画作成 (7 号館 4F 741 ~ 746 教室) 実行委員会提供

チームで協創しながら PR 力を学ぶ：初めて出会う仲間とチームを組み、交流しながら限られた時間で商品等を PR する 1 分動画を作ります。ものの切り口や表現方法を中心に、「相手に興味を持たせて、伝える」工夫をしてもらいます。完成後には全員で作品鑑賞&人気投票&講評を行います。

■ WS2 Google マイビジネス等を使ったデジタルマーケティング

(6 号館 1F 学生ラウンジ) グーグル合同会社提供

デジタルを活用した情報発信を学ぶ：Google イノベーション ジャパンは、日本各地の独創的なビジネス・人材・観光資源を、デジタルを通じて活性化し、地域から生まれるイノベーションを応援する活動です。ワークショップでは、店舗でお使いいただける Google マイビジネスの案内・登録デモンストレーションをはじめ、デジタルマーケティングの基礎を学べるサイト「デジタルワークショップ」をご紹介します。地域の特色を踏まえた情報発信をテーマにグループディスカッション、グループ発表を行ってもらい、これを通じてデジタルを活用した情報発信について考えるきっかけを作ります。

■ WS3 マスキングテープアート制作 (学生食堂 2F) (株)レオパレス 21 提供

PR・装飾の手法を学ぶ：マスキングテープを活用したアート作品を作る体験を通じて、販売時の POP づくりや店舗・屋台の装飾等に役立つ手法を学びます。

18:30 ~ 夕食 (特製弁当&お茶) ※会場：6 号館 621 教室

- ・各 WS が終わり次第、夕食をとります。
- ・動画作成 WS の成果である動画を観賞 (グループ投票・講評を行います)

19:30 ~ オーラルセッション出場団体の発表 (ポスターセッション審査の上位 6 団体)

20:00 ポスター、展示物等の撤収

20:30 終了 (宿泊場所へ移動)

21:00 頃 宿泊施設到着 ※ (公財) 修養団伊勢青少年研修センター

DAY 2

平成 29 年 8 月 19 日 (土)

午前中は【SBPチャレンジ部門】と【料理部門】に分かれて研修し、午後からは皇學館大学に合流してSBPチャレンジアワードに参加します。

《SBPチャレンジ部門》

■外宮前での展示・販売イベント&SBPチャレンジアワードの実施 ※会場:外宮前特設会場・皇學館大学(伊勢市)
全国の高校生の取組、開発した商品などの発表・販売を通して交流を深めるとともに、開発商品や取組について6団体のプレゼンテーションを審査して各賞を決定します。

7:00~ 朝食

7:45~ 宿泊施設出発

皇學館大学を經由(物品販売用品の積込)して、伊勢神宮外宮前の広場へ移動
各団体出店ブースの設営

8:30~ 各団体PRや展示販売活動による実践交流 ※12:00 までには活動を終了し、撤収します。

12:30~ 大学生レストラン(皇學館大学学生食堂)に移動

13:00~ 昼食(高校生レストラン「まご弁当」) ※場所:皇學館大学学生食堂

料理部門で調理された「まご弁当」をみんなでいただきます。

13:50~ SBPチャレンジアワード開会式 ※料理部門参加も含め全体参加 会場:6号館 621教室

14:00~ オーラルセッション 参加団体によるプレゼンテーション

発表団体:6団体

※団体ごとに10分間の発表を行い、各審査委員からの質疑

休憩

17:10~ 集合

※場所:会場:6号館 621教室

岸川実行委員長よりSBPについてのお話し、講師紹介

17:30~ 講演

角田 陽一郎氏 バラエティブロデューサー テーマ:「新しい時代の新しい生き方・働き方」

18:00~ 結果発表・表彰

18:30~ 閉会式

19:00~ バイキング交流会(大学生レストラン) ※会場:皇學館大学学生食堂

21:00 全日程終了(希望者のみ宿泊 修養団伊勢青少年研修センター)

《料理部門》

■相可高校生との料理研修参加 ※会場:三重県多気町(高校生レストラン「まごの店」、相可高校)
全国の料理を学ぶ高校などが、多気町にて相可高校食物調理科を中心に料理研修を行います。

6:00~ 朝食

6:40~ 第1会場(相可高校食物調理科調理実習室)へ移動

7:20~ 調理交流開始(メニュー:本フェア参加者全員の昼食弁当)

参加団体:3団体(三重県立相可高等学校、青森県立百石高等学校、学校法人松柏学院 倉吉北高等学校等)

参加予定者:生徒約80人

※相可高校食物調理科調理クラブ 顧問の村林新吾教諭の指導を受けます。なお、料理交流で作られた弁当をフェア参加者でいただきます。

9:30~ 第2会場(高校生レストラン「まごの店」)へ移動し、レストラン研修

11:45~ 大学学生レストラン(皇學館大学)にバスにて移動し、レストラン研修

13:00~ 昼食&サービス研修(まご弁当の説明&サービスなど) ※会場:皇學館大学学生食堂

13:50~ SBPチャレンジアワード開会式に参加 以下【SBPチャレンジ部門】スケジュールに同じ

会場 MAP



6号館

1F 玄関ホール

8月18日(金)
受付 AM11:00 ~

1F 学生ラウンジ

8月18日(金)
・WS2

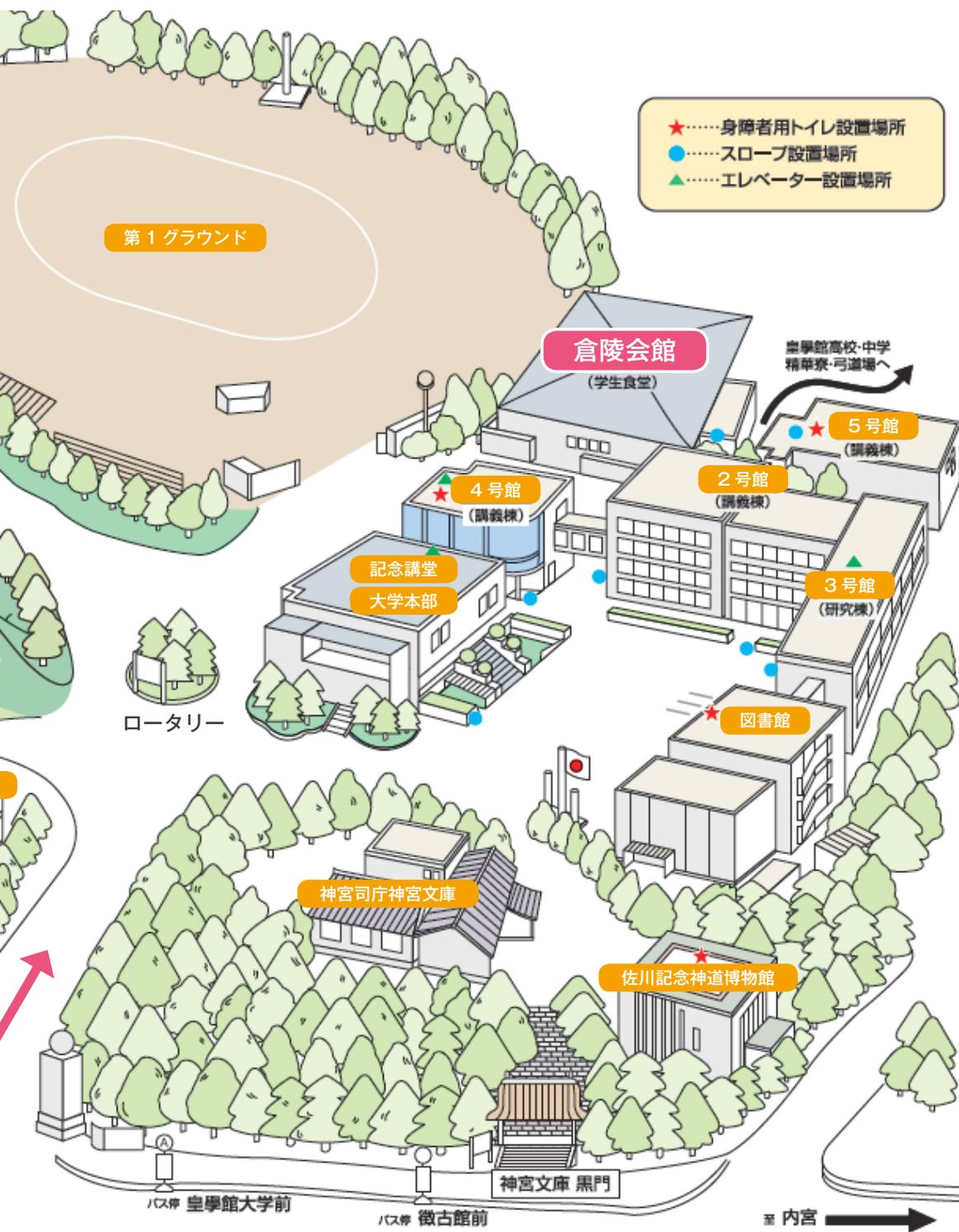
2F 621 教室

8月18日(金)
・オープニング
・講演 武井史織講師
・皇學館大学 大学生テレビ局
作品鑑賞
・夕食、動画鑑賞会場

8月19日(土)
・チャレンジアワード会場
・講演 角田陽一郎講師
・結果発表、表彰式会場

2F 622 教室

8月19日(土)
・チャレンジアワード審査室



7号館

4F 741 ~ 746 教室

8月18日(金)
 ・ポスターセッション会場
 ・WS1 動画作成

5F 751 ~ 752 演習室

8月18日(金) 8月19日(土)
 ・ポスターセッション審査及び委員等控室 ・審査委員控室

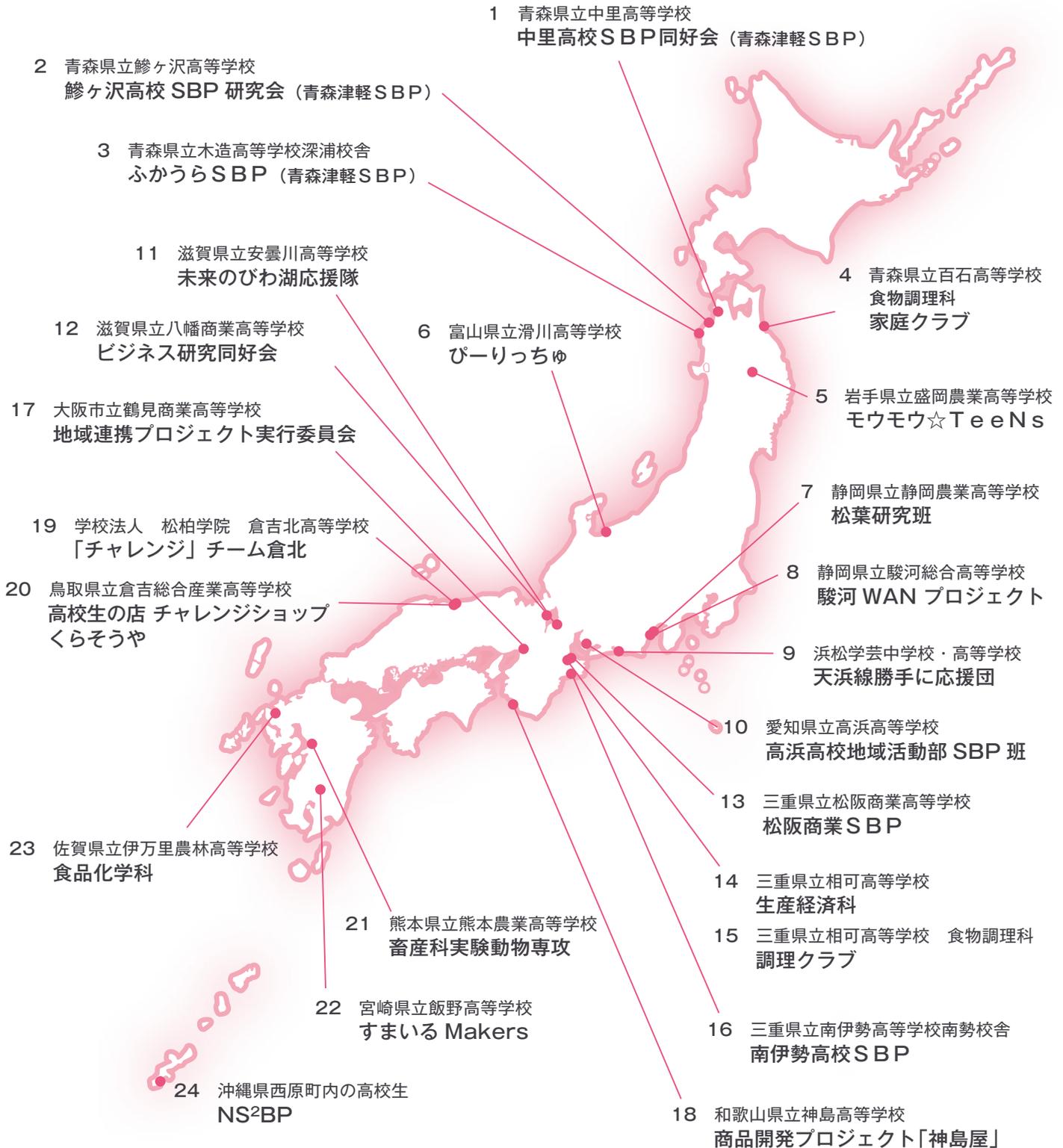
倉陵会館

2F 学生食堂

8月18日(金)
 ・WS3

参加校 一覧

日本全国から 24団体が参加!!



	ブロック	高等学校名	参加するイベント
1	東北	青森県立中里高等学校 中里高校SBP同好会 (青森津軽SBP)	
2	東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校SBP研究会 (青森津軽SBP)	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
3	東北	青森県立木造高等学校深浦校舎 ふかうらSBP (青森津軽SBP)	
4	東北	青森県立百石高等学校 食物調理科 家庭クラブ	
5	東北	岩手県立盛岡農業高等学校 モウモウ☆TeenS	SBP チャレンジ部門
6	中部	富山県立滑川高等学校 ぴーりっちゅ	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
7	中部	静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班	SBP チャレンジ部門
8	中部	静岡県立駿河総合高等学校 駿河WANプロジェクト	
9	中部	浜松学芸中学校・高等学校 天浜線勝手に応援団	
10	中部	愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部 SBP 班	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
11	中部	滋賀県立安曇川高等学校 未来のびわ湖応援隊	
12	中部	滋賀県立八幡商業高等学校 ビジネス研究同好会	
13	近畿	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業SBP	見学 (運営スタッフ)
14	近畿	三重県立相可高等学校 生産経済科	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
15	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ	料理部門
16	近畿	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校SBP	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
17	近畿	大阪市立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会	出店 (物品販売)
18	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
19	中国	学校法人 松柏学院 倉吉北高等学校 「チャレンジ」チーム倉北	見学
20	中国	鳥取県立倉吉総合産業高等学校 高校生の店 チャレンジショップ くらそうや	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
21	九州・沖縄	熊本県立熊本農業高等学校 畜産科実験動物専攻	SBP チャレンジ部門
22	九州・沖縄	宮崎県立飯野高等学校 すまいる Makers	
23	九州・沖縄	佐賀県立伊万里農林高等学校 食品化学科	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)
24	九州・沖縄	沖縄県西原町内の高校生 NS ² BP	SBP チャレンジ部門 出店 (物品販売)

青森県立中里高等学校 中里高校SBP同好会(青森津軽SBP)

全国Sの絆による「メバ焼き！」が誕生

わたしたちの学校は津軽北部地域の拠点校として、昭和51(1976)年に開校し、今年で41年目を迎えました。開校当初は約360人の生徒を数えましたが、過疎・少子高齢化による人口減少の波を強く受け、現在では全校生徒44人と少なくなり、学校のある中泊町も私たちが生まれた2000年の人口は15,325人を数えましたが、現在の2017年では11,531人まで減少しています。

そこで、“地域と中高を元気に！”を合言葉に、祭りへの参加やボランティア、清掃活動等、地域との連携を深め、地域からも信頼される高校を目指し、日々努力しています。

SBP同好会設立2年目にあたる今年度は、「Sの絆焼き」のイメージデザイン会議を重ね、高浜高校SBPのプロデュースによる「Sの絆焼き型」を発注することができました。夏休み期間中には、全国Sの絆による「中泊はメバ焼き！（略称：メバ焼き！）」の商品開発会議を重ね、8月18日～19日の「第2回全国高校生SBP交流フェア」では、ご協力くださった皆様への感謝を込めて、大いにPRと交流を深めたいと思います。



青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校SBP研究会(青森津軽SBP)

鱒ヶ沢町で、 お待ちしております！

わたしたち鱒ヶ沢高校SBP研究会は今年で2年目をむかえ、現在、3年生10名、2年生8名の計18名で活動を行っています。これまで行ってきた取り組みは主に3つあります。

一つ目はセレクトギフトの製作です。鱒ヶ沢町の特産物をまとめ、「鱒の味」という名前で製作しましたが、今年の1月から販売を始め、6月に目標である100個の販売を達成することができました。二つ目はオリジナル商品の開発です。具体的には「ポーくんジャーキー」と「イカタンスルメ」という商品を製作しましたが、特に「ポーくんジャーキー」は、私たちがすべて手作りしています。三つ目はおやきの製作です。愛知県立高浜高校のみなさんの協力のもと、鱒ヶ沢町の特徴である、相撲とヒラメをコラボさせたおやきを製作しました。これ以外にも、メロン販売プロジェクトや、ショップを立ち上げ、法人化するプロジェクトも進行しています。

これからも鱒ヶ沢町をみんなで盛り上げ、日本で一番いい町にできるよう、頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



青森県立木造高等学校深浦校舎

ふかうらSBP(青森津軽SBP)

地域の「魅力発信」と「再発見」をお手伝い！

深浦町は青森県の西南部、秋田県との県境に位置し、日本海の海岸線沿いに広がる町です。世界自然遺産白神山地や、青池を有する十二湖国定公園、千畳敷海岸などの恵まれた自然のほか、人気のローカル鉄道五能線など、観光資源が豊かで、マグロや山菜などの山海の幸、雪の下で甘味を引き出した雪人参など、「^{うまいもの}んめもの」もいっぱいです。

深浦校舎はそんな深浦町唯一の高校です。全校57人と小規模ですが、観光客をガイドする「駅からハイキング」など、地域と連携した活動に積極的に取り組んでいます。さらに、町内の流倒木を砕いたチップを白神山地に撒く遊歩道整備事業は、防災・環境保全・観光振興に繋がる活動として評価され、日本水大賞未来開拓賞に輝きました。

その中でも、町を支える観光に注目して地域活性化を目指すのが「ふかうらSBP」です。昨年度は深浦の「いいもの」「んめもの」を厳選し、鱈ヶ沢・中里高校と連携してセレクトギフトを販売しました。今年度は高浜高校SBPのご協力で完成した「マグロ焼き」の販売にも取り組みます。地域資源を活かした様々な活動を展開し、深浦町内では深浦の魅力再発見を、町外では深浦を知ってもらうきっかけ作りを目指します。



青森県立百石高等学校 食物調理科 家庭クラブ

高校生レストラン2年目を迎え、 さらにパワーアップ！

本校の食物調理科は、県内の公立高校では唯一の調理師養成施設です。私たちが学校で身につけた知識や技術を生かす場として、「高校生レストラン」を運営して2年目となります。レストランの目的は、1、職業観や勤労観を身につけるとともに、世代を超えた人々との交流を通して自己有用感を高めること。2、地産地消を活かしたメニューの開発や地域と連携したレストラン運営により、私たちなりに地域活性化へ貢献することです。

メニューは「和食膳」で、周りの方々との縁が結ばれてレストランが実現したことや、人をつなぐ縁を結ぶ料理でありたいという願いから「結(ゆい) 御膳」と名付けました。

取組は、本校ホームページで詳しく紹介しており、町の広報誌や地元の新聞、TV番組で特集が組まれたこともあり、地域に広く知れ渡っています。また、3月には全国の地方紙12社に紹介されたことで、県外からも来店していただくと期待しています。

2年目を迎え、新たな課題改善に取り組みながら、最高のおもてなしを目指し毎日輝いています。



岩手県立盛岡農業高等学校 モウモウ☆TeenS

牛飼い女子！！高校生目線で岩手の酪農を盛り上げ、畜産県岩手の活性化に繋がります

本校は、岩手県滝沢市にあり 2019 年に 140 周年を迎える学校です。「モウモウ☆TeenS」とは、岩手県の牛飼い女子応援事業参加により結成された、3年大動物班女子のグループで、活動2年目となります。

岩手県は、国内有数の畜産県ですが、乳牛は、飼育戸数・頭数ともにここ数年減少傾向です。岩手の産業だけでなく、日本の農業問題にも関わります。そこで、牛の魅力発信の取り組みとして、学校での搾乳体験や大手スーパー、盛岡駅での盛農牛乳の試飲販売を行っています。販売では、ウシ柄のオーバーオールを着用しPRしています。また、牛乳の高付加価値の取り組みとして大手コンビニエンスストア、ローソンと岩手県産牛乳を使用したパンを共同開発し、5月に東北6県約 1,000 店舗で販売できました。また、障がい者施設との共同開発で盛農牛乳を使用したキャラメル商品も 10 月には、販売のめどがつかまりました。このことは、施設利用者の自立支援にもつながり、農福連携にもつながります。

これからも、高校生目線で岩手の酪農を盛り上げ、岩手全体の活性化に繋げる活動を発信していきます。



富山県立滑川高等学校 ぴーりっちゅ

スキンケアを通して
地域産業の発展に貢献します！

本校には「薬業科」という、日本で4つしかない薬について学ぶ科があります。「くすりの富山」としても知られているとおり、薬業科卒業生の半数以上が地元製薬会社に就職しています。そのうちの1つ、前田薬品工業（株）との共同開発プロジェクト『ぴーりっちゅ』が平成 28 年6月にスタートしました。

この活動は～女子高校生の肌の悩みを解決したい！～というところから始まりました。そして、約1年かけて開発した第1弾は、美絹（うつくしるく）という商品名の化粧水とリップです。平成 29 年5月 29 日から1週間、富山駅前の土産物売り場で販売開始キャンペーンをしました。

商品のこだわりは、富山県産の原料を使っているところです。化粧水には地元滑川の海洋深層水と南砺市の絹を使ったシルク溶液を、また、リップにはシルク溶液と小矢部のハトムギぬか油を使用しています。肌の悩みを改善しながら地域産業の発展に貢献したいという思いで活動を続けています。地域の方々のご協力をいただきながら地域と学校が連携した取り組みを今後も積極的に行っていきたいと思います。



静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班

『松葉』を食用に。 付加価値をつけた松葉商品販売

現在三保松原では松枯れが進行しており、景観維持のため剪定、伐採された松の廃棄に多額の費用がかかり地域の負担になってしまうという問題を抱えています。

私たちはこの問題を解決するため、平成 23 年に発足し今年で 7 年目となります。基礎研究で松葉の有用性を科学的に検証し、検証した結果から応用研究によって松葉を食品などに添加し、商品開発や開発した商品の販売活動を行っています。

現在は今までに発見してきた松葉の抗酸化作用や血管弛緩作用、アレルギー緩和作用を活かした緑茶や入浴料、うどんや蕎麦の乾麺を開発しています。

また、地域住民との交流やイベントなどで商品販売を行い、利益の 10% を活用し、三保松原の保全活動を行うなど、松葉の有用性について多くの方にとって頂けだけでなく、商品を買っていただくことで保全事業の手伝いができ、付加価値を商品につけて販売しています。現在、地域の方たちや大学生との連携で販売地域の拡大を考えるなど活動の幅を広げています。



静岡県立駿河総合高等学校 駿河 WAN プロジェクト

高校生の力で地域の魅力“再発見” 学校所在地「駿河区」の魅力発信！駿河 WAN プロジェクト

駿河総合高等学校は再編統合により平成 25 年 4 月に誕生しました。学校の特色を考えた時、

- ①駿河区唯一の公立高校&市内唯一の総合学科です。
 - ②静岡市立商業高等学校と静岡南高等学校の良さを引き継ぎます。
 - ③地域の活性化に向け、若者（高校生）から発信します。
- 上記の 3 つを柱に取り組んでいます。

その 1 つとして「駿河 WAN プロジェクト」が提案されました。WAN は、駿河湾の WAN【湾】と広域ネットワーク (WAN) とかけてのことです。現在、このプロジェクトでは、今までに学んだ知識を活かし、地域に貢献しようと、地域の特産を活かした「オリジナル商品開発」や「インバウンド観光」に着眼し、取り組んでいます。

先ごろ、キャッチコピーも生徒から「静岡の魅力 再発見！駿河 WAN プロジェクト」が提案され、高校生の力で、地域と共に静岡の魅力を発信してゆこうと考えています。

今回はその取り組みを紹介していきたいと思います。



浜松学芸中学校・高等学校 天浜線勝手に応援団

地域の魅力を 高校生の視点で発信！

私たちの浜松学芸中学校・高等学校は、静岡県浜松市の中心部にある芸術科を有する中高一貫校です。高校は、学力と人間性を伸ばす普通科と、美術・書道や音楽・電子音楽の4つの課程からなる芸術科があり、学と芸の融合した学校です。

私たちは、3年前から、地域の魅力の発信や課題の解決に取り組む地域調査活動を行ってきました。これまでは学校のある浜松市の中心部での活動でしたが、昨年から浜松市北部の地域に活動を広げています。この「天浜線勝手に応援団」という活動は、昨年度、浜松市北部を走る鉄道である天竜浜名湖鉄道株式会社の協力を受け、全39駅のポスター作製とカレンダーの製作に取り組んできました。どこか懐かしさを感じる駅とその周辺の風景、そしてちょっと青春の甘酸っぱい思い出を感じるような恋や友情をテーマにしたポスターに仕上げました。現在、カレンダーは256部を売り上げて、ポスター展も地元の百貨店や市役所、観光施設などで展示会を開催してきました。現在、全駅が掲載されたフォトブックも制作しました。今後は、さらに地域の魅力を伝える活動ができるよう、高校生の発信力を活用していきたいと考えています。



愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部SBP班

「Sの絆焼き型」で 全国を繋ぐ

高浜高校は、今年で創立50周年を迎える高浜市内唯一の県立高校です。本校には、普通科と福祉科があり、約700人の生徒が在籍しています。本校のシンボルは、校舎の屋根に輝く黄色と青色の瓦です。高浜市は日本三大瓦のひとつである「三州瓦」の生産地で、私たちが作製・販売している「Sの絆焼き型」にも、その技術が活かされています。

「Sの絆焼き型」とは、南伊勢高校の「たいみー焼き」からヒントを得た、オリジナルキャラクターたい焼き型です。この焼き型は、依頼されたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にし、それを基に、こちらも市の主要産業である自動車部品メーカーが金型を彫り込むという工程を経て作製しています。これまでに、青森県の三校から受注をいただき、納品することができました。

私たちは、地域活動部SBP班として新入生を迎えて新たなスタートを切りました。これからも地域の方々と連携し、高浜市の魅力を発信していきたいと思ひます。さらに、「Sの絆焼き型」で世界進出にも挑戦していきたいです。



滋賀県立安曇川高等学校 未来のびわ湖応援隊

外来魚を食べて、 かつての琵琶湖を取り戻す

私たちは、幼いころから泳いだり、釣りをしたりして琵琶湖に親しんできました。また、琵琶湖の恵みである貝や魚を家庭で、あるいは給食で食べて大きくなりました。そんな大切な琵琶湖ですが、外来魚の増加によって琵琶湖の固有種が減少し、地域の伝統食にも影響が出てきています。

そこで、昨年度卒業された先輩は、琵琶湖の外来魚であるブラックバスを食べて減らそうと『フレークン（ブラックバスのふりかけ）』『スモークン（ブラックバスの燻製）』を商品開発されました。

それに続いて、私たちは今年度『ブラックハンバーズ（ブラックバスのハンバーグ）』を考案しました。特にこだわったのは、がっつりバージョンとヘルシーバージョンの2種類にしたことです。これからは、業者さんとの交渉や改良を重ねて、来年の1月に販売する予定です。

私たちの最終目標は、琵琶湖の外来魚がいなくなって、今まで流通してこなかった固有種をおいしく、たくさんの人に食べてもらうことです。



滋賀県立八幡商業高等学校 ビジネス研究同好会

『近江商人再生プロジェクト』

このプロジェクトの目標は、①伝統ある商業高校であり「近江商人の士官学校」といわれる本校の生徒に、近江商人の精神や商法等を実践的に体得させる。②「三方よし」の精神を大切にすること、なかでも「世間よし」（社会貢献）の重要性について学ばせる。③生徒自らが「生きた商業活動」にふれ、商業・経済活動の重要性を学ぶ中で、将来、全国ひいては世界で活躍する人材としての資質・能力を身に付けさせる。の3つです。

5回目の今年度のプロジェクトは27名の希望者が参加し、夏休みの一週間、石川、長野、群馬、静岡等の本県と関係のある市町を訪問し、近江商人の手法である「産物廻し」を体験します。さらに、本県の特産物とともに石川・長野・群馬の特産物を仕入れ、販売することで、その収益金を震災復興等社会福祉支援に寄付し、「三方よし」の「世間よし」につなげます。また、各訪問地での、地元の人たちや近江商人の末裔、本校卒業生との交流を通し、その地方の地域・経済状況を学びます。

このプロジェクトを通して、社会における商売のあり方について学習をしています。



三重県立松阪商業高等学校 松阪商業SBP



「現代の松阪商人」になる！！

松阪商業高校は、情報ビジネス科、情報システム科、国際教養科の三つの学科を持ち、2020年に100周年を迎える商業高校です。様々な部活動が盛んで、放課後にはギターの色音が聞こえてきます。松阪商業SBPは、岸川さんの講演をきっかけに、自ら手を挙げた2年生7人が活動しています。

私たちの目標は「現代の松阪商人になる！」ことです。

その中で、私たちが困ったところは、商業は工業や農業と違って、実践授業がしづらい専門学科だということでした。そこで私たちはSBPを通して、商業を実践していきたいと考えました。具体的には、全国で有名な松阪商人のことを勉強し、松阪の魅力を発信して地域を盛り上げる商売をしたいと考えています。

現在の三井物産、三越伊勢丹などの三井グループは、松阪が三井家の発祥の地で、松阪商人は全国各地で活躍されています。

ビジネスの第一線で活躍されている「プロ」の方々にご協力いただきながら、松阪商業SBPが全国の商業高校のモデルとなれるように頑張りたいです。



三重県立相可高等学校 生産経済科

Lonely・Ghost・Busters (L・G・B) プロジェクト ～園芸福祉で寂しさというゴーストを退治しよう～

相可高校生産経済科では「花や野菜を育て、みんなで幸せになろう」の考え方を実践する園芸福祉活動に取り組んでいます。園芸福祉活動は相可高校生産経済科のSBPの礎でもあります。また、先輩方が高校生によるNPO法人植える美ingを設立し、高齢者施設や保育園、小学校などでの野菜の栽培や花づくり、公園の管理や運営、水質調査など多くの活動を展開しています。その中の一つが私たちが活動するL・G・Bプロジェクトです。L・G・BとはLonely・Ghost・Bustersの略で寂しさというゴーストを園芸福祉で退治しようという取り組みです。具体的には地域に住む1人暮らしの高齢者宅へ訪問し、園芸活動を行うことによって寂しさをなくす活動です。

この活動で高齢者の笑顔が増え楽しい時間を一緒に過ごすことができたことや、心理的well-being尺度調査を実施し園芸福祉で幸福感を得ることを実証することもできました。L・G・Bプロジェクトは健康なまちづくりにもつながる活動です。園芸福祉の普及のためにも、さらに調査・研究を継続したいと思います。



三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ

めざすは 「食のプロフェッショナル」！

私たちが目指す夢は、ずばり、「食のプロフェッショナル」。日本一の板前になりたい、自分の店を持ちたい。入学時の熱い思いを糧に、彼らは3年間、この学科で頑張ります。そして、「もっと料理がしたい」生徒たちが集まったのが「調理クラブ」です。

調理クラブでは、2002年に本校と地元多気町が協力してオープンした研修施設「まごの店」を、土・日・祝日のみ営業し、仕入れから調理、接客、経理までを高校生だけで運営しています。地域の食材を使った商品開発やレシピの提案も大切な勉強です。新聞や情報誌などで彼らのオリジナルレシピが紹介され、レシピ本も出版されています。

最近では、地域との交流を大切にしながら、グローバルな場での活動も増え、日本食の普及と国際交流にもつとめています。「高校生国際料理コンクール」での金メダルをはじめ、「ミラノ世界万博」、アメリカで開催された「食の国際会議」、「伊勢志摩世界サミット歓迎レセプション」など、三重県の代表として「三重の食」を世界に発信しました。

高校生の若い力を、全国、世界に向けて発信する大きなチャンスがいっぱい。まだまだ相可高校調理クラブの挑戦は続きます。



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校SBP

地域の宝をつかって、 まちづくりに取り組んでいます！

海の幸、山の恵、自然の良さを全身で感じられる南伊勢町に、私たちの学校はあります。しかし、南伊勢町の人口減少は著しく進んでいます。本校では、岸川政之さんの講演をきっかけにまちづくりへの気持ちが高まり、全国で最初のSBPが発足しました。私たちは、自分たちのまちの魅力を知り、地元愛を育て、地域資源を生かしたビジネスを立ち上げ、自ら働く場を確保することで、地域に残れる仕組みをつくっていこうと活動しています。

まず、南伊勢町にある特産物の魅力を発信するために、セレクトギフトを企画しました。高校生が選んだ町の特産品を1つの箱に詰め合わせたもので、さまざまな工夫と趣向を凝らした商品です。

また、町のゆるキャラ「たいみー」の形をしたたいみー焼き「たいみー焼き」を販売しています。さらに、地元の小学生にたいみー焼きを使った授業を行い、これからのふるさとを創っていく仲間とともに成長しています。

そして今年は、地元で生息する海藻「ヒロメ」（わかめの仲間）の魅力を多くの人に知ってもらおうというプロジェクトにも取り組んでいます。



大阪市立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会

新商品！大阪の商社・小売店・メーカーと 協力して作った新炭酸飲料！

大阪市立鶴見商業高等学校は、緑豊かな大阪市鶴見区にある商業高校です。私たち、「地域連携プロジェクト実行委員会」は、「鶴見区を元気に！」をモットーに、1～3年生で販売実習を中心に活動をおこなっている学内模擬企業組織です。

私たちは、CSR(Corporate Social Responsibility) 活動から一歩進んだ、CSV(Creating Shared Value) 活動を主体としています。CSV 活動とは、事業主体を社会貢献とし、利益を追求しながらも、社会に貢献できる活動をおこなう経営方針のことです。

昨年は、地元特産品である「河内レンコン」を生かした「レンコンカレーパン」と「レンコン石けん」の開発・販売をおこないました。昨年だけで、「レンコンカレーパン」はおよそ6,000個、「レンコン石けん」は400個を販売しました。

そして、今年も、地元大阪の企業である、伊藤忠食品(株)、生活協同組合連合会コープきんぎ事業連合、(株)日本サンガリアバレッジカンパニーと協力して、新・炭酸飲料「Winspa! ウィンスパークリング」の開発を1年間の歳月をかけておこないました。そして、この夏販売が開始されました。現在1ヶ月で、約22,000本を販売しています。SBP初参加！宜しくお願い致します！



和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」

商品開発から 地域づくり・人づくりへ

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足し2015年度に創立100周年を迎えた学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科からなり、経営科学科では1年次は共通履修とし、2年次から「社会科学」「会計」「ビジネス」「生活文化」の4つの系列に分かれて興味・感心に応じた学習に取り組んでいます。

平成24年度より、課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

開発した商品をPRするだけでなく、各種イベントへの参加を通して企画や運営に携わる事の重要性を考えるようになり、様々なイベントの企画・運営もおこなっています。これからも商品開発だけで終わるのではなく商品開発を基にそこから地域とつながり、主体的な活動によって自分達自身が成長できるような取り組みを考えていきたいと思えます。



学校法人 松柏学院 倉吉北高等学校 「チャレンジ」チーム倉北

調理科有志

本校は、今年創立 55 周年を迎える、鳥取県中部地区にある私立高校で「チーム倉北！」を合言葉に学校全体が 1 つのチームとなり～感動の学校作り～に取り組んでいます。倉吉北高等学校の調理科は卒業と同時に、調理師免許取得を目標に頑張っています。1 年次には「和・洋・中・スイーツ」の基礎を学び、徐々にステップアップしながら、3 年次には総合的にマスターします。本校は、運動部の部活が盛んで県外からの生徒も多く寮で生活をしています。寮の食事を調理科の生徒が授業の中で研究し、運動部の生徒の競技力向上に繋がる献立を考案し、提供できるように計画しています。調理科をスタートさせてまだ 7 年目ですが、今後の目標として地域の方々や保護者などと連携し、高校生レストランのオープンや地域活性化のお手伝いができる様、積極的にたくさんの方に、チャレンジしていきたいと思います。



鳥取県立倉吉総合産業高等学校 高校生の店 チャレンジショップ くらそうや

『地域と共に！』

本校は、人口 4 万 8 千人弱の鳥取県中部にある倉吉市にあります。倉吉市は、山陰の小京都とも呼ばれ自然豊かで住みやすい街となっており、『住みよさランキング 2017』では安心度第 1 位になりました。本校には 4 学科あり、商業学科ビジネス科は 1 クラスでも頑張っています。私たちの先輩が創立以来、「地域との関わりを大切にしたい！」という目的から『高校生の店 チャレンジショップ くらそうや』を始めました。『くらそうや』は、本校の生徒が仕入から販売まで自らの手で行っています。以前は、鳥取県でも数校がチャレンジショップを行っていましたが、現在継続しているのは本校だけとなっています。昨年、10 月 21 日に発生した『鳥取県中部地震』により、倉吉市は多くの被害に遭いました。これによりお店の営業が危ぶまれましたが、地域の方や観光客の皆様にも励まされ、地震発生の翌週には営業を再開できました。そのお陰もあり、倉吉市に売上金の一部をお見舞金として贈ることができました。今年も地域の方と連携をとり商店街の活性化のために、さらに地域から愛される『くらそうや』を作り上げていきたいと思っています。



熊本県立熊本農業高等学校 畜産科実験動物専攻

規格外海苔からブランド卵 「海苔ノリたまご♥黄身に夢中♥」の開発

熊本農業高校畜産科では、初生雛の飼育から鶏卵販売、成鶏のと殺・解体・試食まで生命をつなぐ学習を実施しています。また、平成25年度から飼料自給率の向上をテーマにエコフィードについて研究を行っています。魚のアラや菓子クズ、規格外イモ等を産卵鶏の飼料に利用し、自給率の向上と飼料費の削減に取り組みました。26年度は、エコフィードを活用したブランド卵確立を模索していたところ熊本市沖新町の濱崎さんから規格外海苔の有効利用について相談を受け、産卵鶏への給与試験を行いました。実験の結果、シュレッダーで細断した海苔を飼料に3%添加すると、栄養強化卵として販売できる程栄養価の向上が見られました。

一方、農業経済科では、食品の流通やマーケティングについて学習しています。そこで、学科間連携のもとネーミングやパッケージデザインの作成を行い、商標登録を取得しました。そして完成したのが「海苔ノリたまご♥黄身に夢中♥」です。この研究を現在も引き継ぎ、新たなビジネスモデルとして農林水産業の発展に貢献することを目標に活動しています。



宮崎県立飯野高等学校 すまいる Makers

SMILE FOR AGAIN !

飯野高校では「凜呼」「清楚」「豊潤」を校訓として普通科(総合コース、探究コース)、生活文化科で300人が学んでいます。普通科総合コースのLCAという「地域貢献活動」をはじめ、普通科探究コースの「地域探究活動」、生活文化科の「地域交流活動」など地域に密着した活動を全校生徒で取り組んでいることが特徴です。

また、生活文化科では家庭科技術検定に積極的に取り組み県内最多の三冠王を達成しています。さらに、えびの市が無償で行っている「公営塾成銘館」や他県の高校生と「遠隔授業」を行ったり、他校にはない魅力ある高校です。

今回、私たちは「地域探究活動」の一環でVRを使った旅行を提案する取り組みを始めました。リアルに近い画像を見てもらうことにより、高齢者や障害を持った方々に少しでも感動を与え元気になってもらったり、リハビリをする糧として活用してもらいたいと思っています！

今後は、このVRを様々な福祉の現場に置いてもらい、より多くの人に知ってもらって福祉の現場で役立つように活動を展開していきたいです。



佐賀県立伊万里農林高等学校 食品化学科

伊万里から発信 大地の恵！ 未利用資源の有効活用プロジェクト

私たちの住む佐賀県伊万里市は九州の西部に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな町です。私たちは入学当初より、地域農産物のPR、市場に流通しない規格外農産物の有効活用をテーマとし活動してきました。地域でたくさん栽培されている黒米をPRしようと商品開発に取り組む中で、毎年約450kgの黒米がくず米となることを知りました。くず米を粉にして使用し、地域の方と共同で開発した黒米を使ったスコーン、その名も黒ライスコーンは昨年7月に商品化に成功し本校の定番商品となっています。さらに地域で栽培されているプチヴェールというアブラナ科の野菜は、栽培の際に1株から約50枚の葉が切り落とし廃棄されますがその葉には、ビタミンやカロテン、鉄分、カルシウム等を多く含んでいることから、手軽にカルシウムを摂取できるプチヴェールを使った衛生ボーロの試作に取り組んでいます。地域の老人ホームや保育園で試食会を開催しながら改良を重ねています。これからも未利用資源の可能性を追求し、より良い商品作りを目指して私たちの挑戦は続きます！



沖縄県西原町内の高校生 NS²BP

今年のテーマ「～和・輪～」をもとに 西原町の活性化と地域の交流を大切にします！

私たち NS²BP は沖縄県西原町に在住する高校生が主体となって活動しているソーシャルビジネスプロジェクトです。

NS²BP とは Nishihara Students Social Business Project の略で、県内 11 校から集まる高校生が、琉球大学等の教育機関や地元の企業、西原町役場の連携協力のもと、地域の「宝物」を探し出し西原町の良さを全国の皆さまに伝えるために頑張っています。

NS²BP は、2014 年 11 月結成後、全国各地で同世代の学生と交流し、マーケティングや接客について学び地域の特産品の販売を行っていて、今年は「西原町産業まつり」や、巣鴨商店街にて特産品を販売しました。地元の特産品をより深く知り商品開発等の活動を重ねるごとに私たち自身の意識を高めることができました。また沖縄国際映画祭での出店をはじめ、イオン琉球「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にも参加しています。今年度はさらに地域との交流を深めるため、テーマを「～和・輪～」として、特産品の販売や商品開発を通して地元の企業さんと交流し、地域に密着した活動に努めています。

西原町の活性化に向けてこれからもたくさんの「～和・輪～」をつくっていきます。





伊勢
名物 **赤福**

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) ファクシマール0120-081381
<http://www.akafuku.co.jp/>



つくるひとになろう。

Adobe Creative Cloud

アドビ システムズ 株式会社 www.adobe.com/jp/

NT GROUP

エヌティテクノ株式会社

〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

エヌティツール株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

エヌティエンジニアリング株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

エヌティ精密株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191

皇 學 館 D A Y 2 0 1 7

皇學館高等学校吹奏楽部 第10回定期演奏会

津
開催

平成29年
9.18 [月・祝]

開催時間 / 14:00 ~ 19:00
[予定]

場 所 三重県文化会館 大ホール

■JR・近鉄[津]駅より◇徒歩:24分 ◇バス:[総合文化センター行き・夢が丘団地行き(系統番号89)]乗車、バス停[総合文化センター前・総合文化センター]下車すぐ。
■車:伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分。

内 容

14:00~ 学校相談会(無料)
16:00 (中学校・高等学校・大学)
15:30 【開場】 皇學館高等学校吹奏楽部
16:00~ 【開演】 第10回定期演奏会
19:00 (終了予定) [入場料:800円] ※チケット発売に関しては高校HPにて8月中旬頃よりご案内します。

みなさまのご来場をお待ちしております。

問い合わせ **0596-22-8600**

学校法人 **皇 學 館**

みんなであこが！ 幸せの種

🌱 「こんにちは！」というふれあいの種

🌱 「どうぞ！」という思いやりの種

🌱 「ありがとう！」というよろこびの種

《幸せの種》を一粒でも多く

周りの人々にまいていきましょう

SYD 伊勢青少年研修センター

SYD ホームページ <http://syd.or.jp/ise>



SYD (公益財団法人 修養団) は、

「愛と汗」を信条に、

青少年の健全育成を柱とした社会教育事業を展開しています。



地域資源の活用 地域産業との共生

社会貢献型事業である「コミュニティ・ビジネス」を経営戦略と定め、地域社会発展を支えるプラットフォームとして、産・学・官・民による連携活動のもと、地域社会内にある様々な資源を活用し、地域全体で新たな事業モデルを創造します。

- ◆ 植物油（コーン油、菜種油）
- ◆ 高機能レシチン
- ◆ 機能性素材
（セラミド、
コラーゲンペプチド）
- ◆ 天然香料（ゆず、しょうが）
- ◆ 調味料

きれい与健康、そしておいしさ
辻製油株式会社

〒515-2314 三重県松阪市嬉野新屋庄町 565-1

<http://www.tsuji-seiyu.co.jp/>



DENSO
Crafting the Core

より良い未来を次世代へ

Crafting the Core

デンソー機工株式会社

〒444-1301 愛知県高浜市新田町 5-1-5 TEL: 0566-53-5115



Website



人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

 **百五銀行**

FRONTIER BANKING

インターネットホームページ <http://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING 

調査 業務

- **調査研究・地域活性化支援**
地方公共団体等が抱える課題に対して、ご支援・コンサルティングを行います。
- **地域経済・産業動向調査**
地域経済、産業動向、経済波及効果などを調査しています。

コンサル ティング 業務

- **経営改善支援**
- **賃金・人事・雇用管理**
- **教育・研修・講師派遣**
- **マネジメントシステム導入支援**
- **BCPコンサルティング**
- **PFI・PPP手法の導入・事業実施支援**

幅広い分野で、お客さまのニーズにお応えします。

会員 制度

- **百五経営情報クラブ**
(特別会員、一般会員)
特別会員交流会、商談会・ビジネスマッチング、ビジネスセミナー、経済講演会、勉強会開催
教育ビデオ・DVDの無料貸出、定期刊行物など
- **情報セキュリティコンサルティング**
(情報セキュリティ会員)

主な定期 刊行物



三重県経済のあらし 三重県会社要覧 賃金統計ガイド

HRI 株式会社 百五総合研究所

TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380

URL <http://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp

より“つながった”世界の実現を目指して ——

ファーウェイは人と人、モノとモノ、そして人とモノを情報通信ソリューションでつなぎ続けていきます。

ファーウェイ（漢字表記：華為技術）は1987年に中国・深圳（シンセン）で設立された民間企業で、世界170カ国以上で情報通信のソリューションを提供しています。2005年に設立されたファーウェイ・ジャパンは、震災復興支援、環境保全、人材育成支援などの活動を通じ日本の未来づくりにも貢献しています。



華為技術日本株式会社
(ファーウェイ・ジャパン)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー12階
代表電話番号：03-6266-8008
www.huawei.com/jp/sustainability

プラトンホテル四日市



宿泊 TEL.059-352-0300

●所在地 三重県四日市市西新地 7-3

宴会 TEL.059-352-0301

●交通 近鉄四日市駅北口より徒歩 3分

●駐車場 33台



プラトンホテル



platon.hotel



プラトンホテル四日市

人生のセンパイ！
教えてください！

マナビジョン

先輩たちはどうやってその職業に決めたんだろう？ 高校時代どう過ごしていたんだろう？
リアルな体験記だから、進路選びのヒントになる情報がいっぱい！

社会人300人の
職業レポート

仕事のことや
高校時代の
進路選択について、
リアルな体験記が
どんと300人分！

**医療関係
管理栄養士 Aさん**
社会人歴：3年目/女性

基本 DATA

出身大学
山口県立大学
看護栄養学部 栄養学科

教育資格（大学時）：管理栄養士、栄養士、栄養教諭1種
- 食品衛生管理員
実習経験：1週間～6か月までの短期実習に行ったことがある
語活・サークル：なし

レポート 就活体験記 高校時代の進路選択

仕事について

病院に勤務し、患者さんの栄養管理を担当しています。食材の発注、献立作成、配膳チェ...

マナビジョン 社会人

検索

いい部屋、増やしています。

レオパレス21

レオパレス21では皆さんの期待に応えることのできるお部屋を多数をご用意しています。
レオパレス21は皆さんを精一杯応援します。

Social Business Project 参加学生の皆様へ



お部屋探しの流れ

設備・サービス

STEP 1

レオパレスセンターへ
お問い合わせ



OR

レオパレス21
WEBページへ



▼レオパレスの物件を見学してみよう!!

STEP 2

全国約56万室の管理戸数!

※2017年7月現在



▼レオパレスセンターに行ってみよう!!

STEP 3

物件見学は絶対オススメ!

規格化されたお部屋なので地元で希望のタイプの見学が可能です。



▼ご予約手続き

STEP 4

物件限定の様々なキャンペーン開催中

家具・家電付き

物件には様々な設備があらかじめ付いていますので、家具・家電購入費用などの初期費用を大幅に軽減できます。

※物件により、家具・家電設備の仕様が異なる場合がございます。



■お問い合わせはこちら

TEL 0120-924-421

営業時間10:00~18:00

株式会社レオパレス21

宅地建物取引業者免許/国土交通大臣免許(10)第2846号
本社/東京都中野区本町2-54-11



2017.7

大学生の企画が実現する!

大学生レストラン

学食の2階がとっても面白い!

私が監修したメニューです!



三重県立相可高等学校
食物調理科教諭
村林 新吾 先生

場 所：皇學館大学倉陵会館 2F 食堂

営業時間：11:30 ~ 14:30

営業日：通常講義期間中の月~土曜日 (大学の休業日を除く)

*土曜日は、1階食堂と大学生レストランのどちらか営業

メニュー：おふくろ定食 400円

どんぶりセット 400円

ヘルシーランチ 400円

ボリュームセット 450円

*すべて日替わりメニューです!

相可フードネット×株式会社魚国総本社

主 催

未来の大人応援プロジェクト実行委員会

委員長	岸川 政之	皇學館大学現代日本社会学部教授 百五銀行地域創生部 顧問
副委員長	中野 拓治	琉球大学農学部教授（放送大学客員教授）
委員	藤田 曜久	三重県立相可高等学校 校長
委員	伊藤 隆之	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	河北 冠	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長
委員	徳田 嘉美	三重県教育委員会 高校教育課課長
委員	服部 巨	番頭舎代表（ブランディング プロデューサー）
委員	吉田 拓末	三重県多気町まちづくり仕掛人塾 世話役
顧問	宜保 清一	琉球大学名誉教授 （一社）地域環境資源センター技術検討委員会委員

共 催

文部科学省

後 援

内閣府（地方創生推進事務局）、総務省（申請中）、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、伊勢商工会議所、皇學館大学

協 力

アドビ システムズ 株式会社、エヌティー精密株式会社、株式会社赤福、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社レオパレス 21、グーグル合同会社、公益財団法人修養団、国立大学法人東京学芸大学、辻製油株式会社、デンソー機工株式会社、華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）、富士ゼロックス三重株式会社

記 録北出 正之（株式会社百五銀行総務部、一般社団法人日本写真学会会員）
皇學館大学 大学生テレビ局**企画・運営
スタッフ**

相可高等学校生産経済科

林 利子、谷口 夏鈴、山田 菜々子、太田 紬、齋藤 永実奈

南伊勢高校SBP

井村 有貴、大竹 綾、竹内 華

松阪商業 SBP

木下 理穂、飛矢地 彩華、中谷 旭斐、山中 彩、大家 康那、中村 菜月、沖 果歩

皇學館大学

世古 晶大、鈴木 椋、池田 和弘、清田 公貴、小久保 有弥、辻 雄大、長岡 陽太、濱田 拓実
中山 斗希央、西村 欽文、内山 悠太、中村 謙斗、赤根 俊輝、戸田 康平、御邊 健一郎、三浦 朋大
肥後 明日香、中谷 力斗、角谷 魁都、片山 智貴、松本 雄大、河原田 陽、森 麻帆、勝田 萌
中村 海人、古屋 颯斗、西村 知、坂井 淳一郎**これまでのSBP協賛企業様一覧（50音順です。）**

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、株式会社アイブレン、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing（ウエルビーイング）、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うおすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット（せんばいの店）、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、グリコハム株式会社、コケッコー共和国、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社トモ、日経三勢会、万協製菓株式会社、番頭舎、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、株式会社マスヤ、株式会社マスヤグループ本社、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライス、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会

共催 文部科学省